

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】 第 5 部門第 2 区分
【発行日】 令和 7 年 7 月 1 日(2025.7.1)

【国際公開番号】 WO2025/022979
【出願番号】 特願 2024-559579(P2024-559579)

【国際特許分類】

F 1 6 D 41/08(2006.01)

F 1 6 D 43/20(2006.01)

F 1 6 D 63/00(2006.01)

【F I】

F 1 6 D 41/08 A

F 1 6 D 43/20

F 1 6 D 63/00 R

【手続補正書】

【提出日】 令和 6 年 10 月 7 日(2024.10.7)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】 特許請求の範囲

【補正対象項目名】 全文

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

第 1 回転部材側係合部を有する第 1 回転部材と、

第 2 回転部材側係合部を有する第 2 回転部材と、

第 3 回転部材側係合部を有する第 3 回転部材と、

前記第 1 回転部材側係合部と係合可能な係合子側第 1 係合部、前記第 2 回転部材側係合部と係合可能な係合子側第 2 係合部、および、前記第 3 回転部材側係合部と係合可能な係合子側第 3 係合部を有する係合子と、

前記第 1 回転部材に固定されたフライホイールと、
を備え、

前記第 2 回転部材または前記第 3 回転部材にトルクが入力されると、前記第 2 回転部材側係合部と前記係合子側第 2 係合部とが係合し、かつ、前記第 3 回転部材側係合部と前記係合子側第 3 係合部とが係合することにより、前記第 2 回転部材と前記第 3 回転部材との間でトルクの伝達が行われつつ、前記係合子側第 1 係合部と前記第 1 回転部材側係合部とが係合することにより、前記第 1 回転部材および前記フライホイールと前記第 2 回転部材と前記第 3 回転部材と前記係合子とが一体的に回転する、定常回転状態となり、

前記定常回転状態において前記第 3 回転部材に作用するトルクが急増すると、前記フライホイールに作用する慣性力に基づいて、前記第 1 回転部材側係合部が前記係合子側第 1 係合部を押圧することにより、前記係合子が前記係合子側第 3 係合部を前記第 3 回転部材側係合部から遠ざける方向に移動し、前記係合子側第 3 係合部と前記第 3 回転部材側係合部との当接圧が低下または喪失することで、前記第 2 回転部材と前記第 3 回転部材との間で伝達されるトルクが低下または喪失する、トルク伝達規制状態となる、クラッチ装置。

【請求項 2】

前記係合子を、前記第 3 回転部材側係合部と前記係合子側第 3 係合部とが係合する方向に弾性的に付勢する付勢部材を備える、請求項 1 に記載のクラッチ装置。

【請求項 3】

前記第 3 回転部材は、内周面に、前記第 3 回転部材側係合部を有し、

10

20

30

40

50

前記第 1 回転部材側係合部は、前記第 3 回転部材側係合部の径方向内側に配置され、
前記第 2 回転部材側係合部は、前記第 1 回転部材側係合部よりも前記径方向内側に配置され、

前記係合子は、径方向内側面に前記係合子側第 2 係合部を有し、かつ、径方向外側面に前記係合子側第 3 係合部を有し、前記係合子側第 3 係合部の前記第 3 回転部材側係合部に対する遠近方向である第 1 方向の移動を可能に配置されている、

請求項 1 に記載のクラッチ装置。

【請求項 4】

前記係合子は、2 つの係合子により構成され、

前記第 1 回転部材側係合部は、2 つの第 1 回転部材側係合部により構成されている、
請求項 1 に記載のクラッチ装置。

10

【請求項 5】

駆動源のトルクを駆動輪に伝達する駆動系に組み込んで使用される、請求項 1 に記載のクラッチ装置。

20

30

40

50